

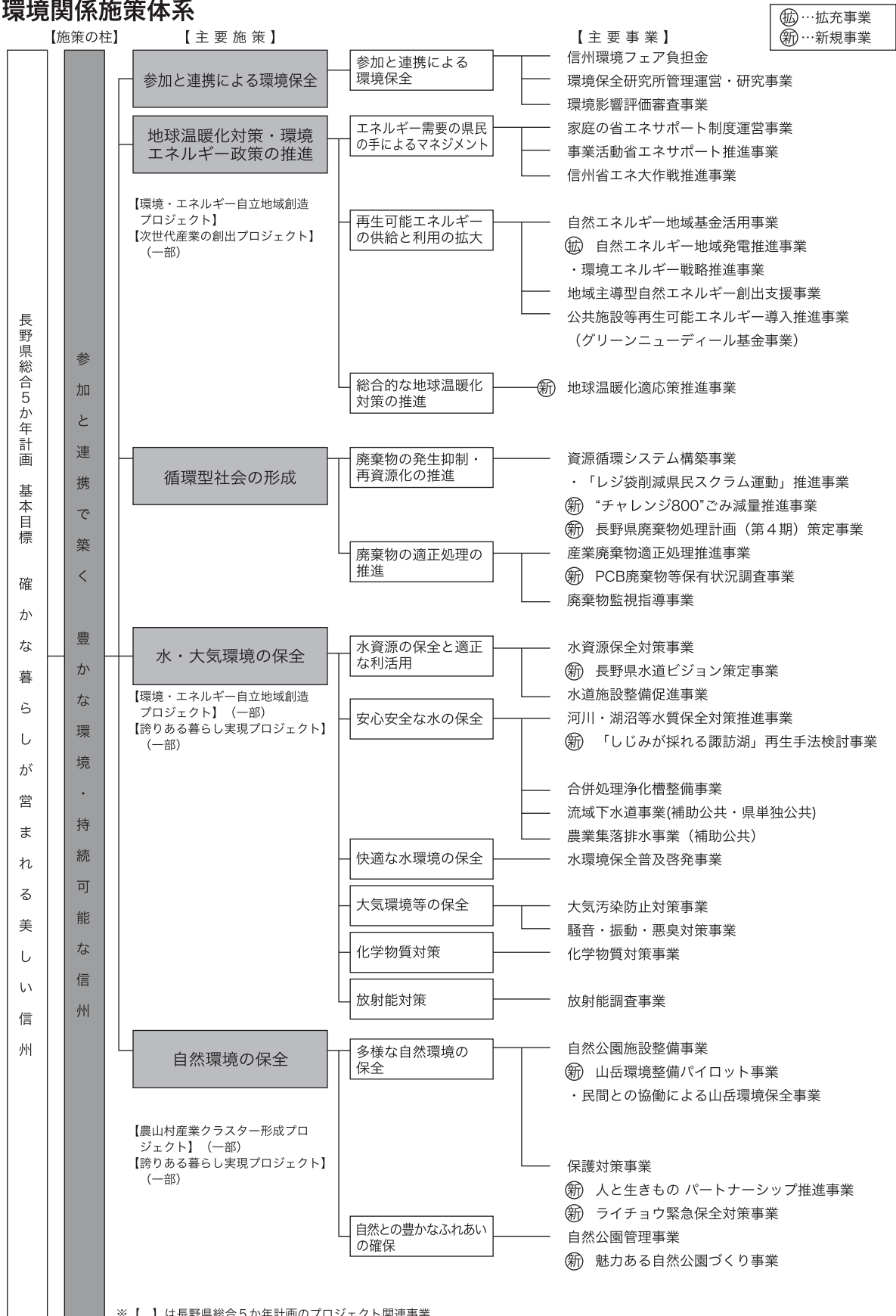


# 第2部

## 環境の状況と講じた施策

# 序章 平成27年度 環境関係施策体系と主要事業の概要

## 1 環境関係施策体系



## 2 主要事業一覧

事業名	事業内容
信州環境フェア負担金	地球温暖化防止や循環型社会の形成などに向けた取組を推進し、持続可能な社会を構築するため、経済団体等と連携して「信州環境フェア」を開催しました。また、地域で開催される環境イベントとの連携事業を行いました。
家庭の省エネサポート制度運営事業	家庭の省エネ・節電を着実に推進するため、民間事業者（省エネサポート事業者）が県民と接する機会を活用し、省エネアドバイス・省エネ診断を実施しました。
事業活動省エネサポート推進事業	事業活動に伴うエネルギー利用の効率化を図るため、事業活動温暖化対策計画書制度に基づき、事業者に対する省エネに関する助言や事業所への現地調査等を実施しました。
自然エネルギー地域基金活用事業	固定価格買取制度により企業局が得た利益の一部を原資として基金を創設し、各部局連携により、自然エネルギーの普及拡大に活用しました。（環境部、教育委員会） 1 ④ 自然エネルギー地域発電推進事業 固定価格買取制度を活用した自然エネルギーの利用を促進するため、市町村や地域のNPO、中小企業等が行う自然エネルギー発電事業に対して助成しました。 2 環境エネルギー戦略推進事業 ・個人のペレットストーブ等導入に対する助成 ・バイオマスエネルギーの先進国であるオーストリアとの技術交流 ・県内の高等学校等が行う自然エネルギー・環境に関する教育活動に対する助成
地域主導型自然エネルギー創出支援事業	自然エネルギーの利用を促進するため、市町村や地域のNPO、中小企業等が行う地域主導型の熱を活用した自然エネルギー事業の創出に対して助成しました。
公共施設等再生可能エネルギー導入推進事業	災害に強い低炭素な地域づくりを進めるため、市町村等が行う避難所や防災拠点等への自然エネルギー設備導入に対して助成しました。
⑧ 地球温暖化適応策推進事業	気候変動による災害発生への未然防止や、変化する気候に適した農産物の栽培など、地球温暖化に適応した技術等の開発を促進するため、産学官が連携して気候変動に関する情報や課題を共有する取組を推進しました。
資源循環システム構築事業	廃棄物の発生抑制や再資源化に向けた取組を推進しました。 1 「レジ袋削減県民スクラム運動」推進事業 「レジ袋削減協働アピール（平成25年10月）」に基づき、消費者は「マイバッグ等持参率80%以上」、事業者は「レジ袋総使用量対前年度比減」などの主体ごとの目標を掲げ、運動を展開しました。 2 ⑧ “チャレンジ800”ごみ減量推進事業 1人1日当たりの一般廃棄物排出量800gを目指し、県民や市町村等との連携によるごみ減量日本一へのチャレンジ事業を推進しました。 3 ⑧ 長野県廃棄物処理計画（第4期）策定事業 廃棄物処理法の規定に基づく、県内における廃棄物の減量化・資源化及び適正な処理に関する計画「長野県廃棄物処理計画（第4期）」（計画期間H28～H32）を策定しました。
産業廃棄物適正処理推進事業	産業廃棄物の適正処理のための取組を推進し、良好な環境の確保を図りました。 ⑧ PCB廃棄物等保有状況調査事業 県内の自家用電気工作物設置事業所を対象として、PCB使用製品及びPCB廃棄物の保有状況等を調査しました。
廃棄物監視指導事業	廃棄物の適正処理を促進して、安心・安全な生活環境を確保するため、排出事業者及び処理業者に対する監視指導を行いました。また、市町村と連携した監視や防止活動により、不法投棄の減少を図りました。 ・産業廃棄物排出事業者及び処理業者等への立入検査及び指導の実施 ・廃棄物指導員及び不法投棄監視連絡員の配置 ・消防防災ヘリコプターによる廃棄物上空監視事業

事業名	事業内容
水資源保全対策事業	<p>県民共有の貴重な財産である豊かな水資源の保全及び適正な利活用を図るため、水資源保全地域の指定、情報発信及び長野県水道ビジョンの策定を推進しました。</p> <p>⑨・名水サミットの開催支援 ⑨・長野県水道ビジョンの策定</p>
水道施設整備促進事業	<p>安心・安全な水道を将来にわたり持続することにより、県民の健康被害の未然防止と生活基盤の維持を図るため、水道施設の耐震化、災害対応など水道事業者に対する補助や指導等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上伊那広域水道用水企業団補助金事業</li> <li>・水道水源確保支援事業</li> </ul>
河川・湖沼等水質保全対策推進事業	<p>良好な水環境の保全を図るとともに、健康被害等を未然に防止するため、県内の河川、湖沼及び地下水の汚濁状況の常時監視、工場・事業場への監視・指導を行いました。また、関係機関・団体と連携して諏訪湖の環境改善に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要河川・湖沼、河川上流域、水道水源ダム湖及び地下水の水質常時監視事業</li> <li>・排出源監視指導事業</li> <li>・諏訪湖環境改善対策事業</li> </ul> <p>⑨・「しじみが採れる諏訪湖」再生手法検討事業</p>
合併処理浄化槽整備事業	<p>快適な生活環境と良好な水環境保全のため、市町村が実施する合併処理浄化槽整備事業に助成しました。</p>
大気汚染防止対策事業	<p>大気汚染物質による健康被害等を未然に防止するため、大気の汚染状況を把握するとともに、ばい煙等発生源への監視・指導を行いました。</p>
⑨ 山岳環境整備パイロット事業	<p>山岳環境の保全と適正利用の推進を図るため、一定の合意が図られた山域において実証的な取組を行い、長野県山岳環境連絡会において方針を策定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村が実施する登山道、山岳環境保全施設（シカ柵など）の整備への支援</li> </ul>
民間との協働による山岳環境保全事業	<p>民間からの寄付金を活用し、山岳環境保全に関する取組を支援するとともに、長野県山岳環境連絡会を設置し、登山道などの今後の方向性を検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や山小屋関係者が実施する損傷した登山道などの整備に対する支援</li> <li>・長野県山岳環境連絡会において今後の登山道や山岳環境について検討</li> </ul>
⑨ 人と生きものパートナーシップ推進事業	<p>県内の各地域において、自立的な生物多様性の保全活動を展開できる体制を構築するため、企業など多様な主体と地域の保全活動をつなぐ仕組みづくりを進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性ホットスポットの緊急保全対策</li> <li>・地域の自立的な保全活動体制の構築</li> </ul>
⑨ ライチョウ緊急保全対策事業	<p>信州の山岳環境のシンボルであるライチョウを絶滅の危機から守るため、保護体制を整備しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息数不明山域での実態調査</li> <li>・ライチョウ保護を支援する「ライチョウサポーターズ」の養成</li> </ul>
⑨ 魅力ある自然公園づくり事業	<p>「信州 山の日」制定により醸成された機運を活かし、本県の自然公園のさらなる魅力向上と発信を行うため、県立公園のあり方を検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立自然公園のあり方の検討</li> <li>・県内で開催される東アジア生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）ネットワーク会議への支援など</li> </ul>